



平和とくらしを守る北九州市民の会

〒803-0817 小倉北区田町 13-21 田町ビル 3 F
TEL 093 - 592 - 5000 FAX 093 - 571 - 4346

北九州市民の会

検索

WEB : <http://siminnokai.sakura.ne.jp>
e-mail : koe@siminnokai.com



「市民の会」が第27回幹事会

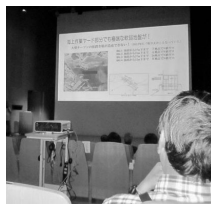
5月16日(木)、「笑顔と希望の北九州市をつくる会」第7回幹事会で会の解散を決定。引き続き、第27回市民の会幹事会が開催されました。討論時間が不十分だという意見が出され今後の課題を残したが、2019年度の活動方針案(以下)を採択しました。



- 会員全員が市政について学び合い、市政や市民の生活状況について分析、調査し、市民の立場に立つ政策提案能力を蓄積していくことを基本課題として市民講座を軸に様々な学び合う企画を実施していく。市民講座は、2ヶ月に一度開催し、当面以下のテーマでの実施を予定している。青年の生き方をめぐる青年企画シンポ、北九州教育行政、市民運動交流会、公共施設マネジメントなど。
- 各区民の会の取り組みを市民の会活動の基本にし、日常的な区民の会活動、運動を展開していくことを目指す。市民の会・区民の会合同会議を定期化し、各区民の会の交流を深める。当面は、小倉南区民の会と小倉北区民の会の結成を重点課題とする。各区の具体的な街づくりは、各区の住民自治組織で行政との協力・共同で進められていくべきものである。
- 北九州における新しい青年運動の可能性を確信し、「北九州市民の会」青年部の結成を目指していきたいものです。KOHO青年の市長選挙における新しい広報活動やメーデーに参加した健和会新入職の若い息吹、福建労はじめ青年労働組合員の生き生きした活動に励まされます。具体的な取り組みとして、第11回市民講座として、「若者の生き方、働き方をめぐるシンポジウム」を9月に開催する取り組みが進んでいます。また、市民の会HPを若者がアクセスするように刷新する取り組みがKOHO青年グループによって取り組まれようとしています。このような青年の取り組みから始めて、北九州市民の会の活動の中心に青年が推進役になるような市民の会を目指していきたい
- 市民の会ニュースは好評を得ていますが、より改善をめざし、これを軸に日常的な北九州の市民運動の交流が市民の会の広報活動によって保証されるようにHPの充実・改善を追求する。特に、現代青年が市民運動に参加し、広まっていくためには、市民の会青年会員によるITを活用した新しい広報活動・組織活動が決定的役割を果たしていくことになります。

北上田毅さん講演会

5月19日(日)、北上田毅さんの講演会がウエルとばた中ホールをいっぱいにして開催された。主催は「辺野古埋め立て土砂搬出反対」北九州連絡協議会。軟弱地盤を見つけ、辺野古埋め立ての不当性、不可能性を科学的に解明。写真、図表を示しながらのわかりやすいお話は、聴衆者を魅了しました。



「公契約条例制定する会」準備会開催

5月21日(火) 18時30分から小倉北生涯学習総合センター会議室で「公契約条例制定する会」準備会が開かれ13団体から18人が参加しました。これまでも何度か公契約条例制定に向けて取り組んできましたが、やっと運動の母体が出来ました。



準備会では、役員体制や目的、運営要綱などを確認し、直方市の視察や学習会、議員要請、他団体などにも呼びかけ大きな運動として発展させ、必ず条例を制定させることを確認しました。確認された役員は、会長に永富地区労連議長、副会長に新屋敷福建労北九州支部書記長、事務局長に永吉地区労連事務局長代行を確認しました。今後さらに役員体制を強化していくことも確認されました。(堀田和夫氏 FB より)

県自治研がシンポと総会

5月25日(土)、福岡県自治体問題研究所が第42回総会を開催。第1部は「集会・言論の自由と自治行政の現実…忍び寄るファッショ・そんたくetc」と題して4人のパネラーによるシンポ。コーディネーターは石川捷治・九州大学名誉教授。総会では、2018年度事業報告と2019年度活動方針を採択した。尚、理事長が石村善治氏から石川捷治氏に交代、役員体制も承認された。



「城野遺跡を実現する会」総会と第10回特別講演会

5月26日(日)、「城野遺跡を実現する会」が総会と講演会を開いた。第10回目の講演会では、弥生時代の絵画研究を専門とする考古学者であり、城野遺跡発掘調査中の2009年12月と2010年1月に現地を視察された常松幹雄先生(福岡市埋蔵文化財課主任文化財主事)が城野石棺の謎の絵画文様について写真を示しながら説得的に講演。専門考古学者の研究成果をじっくり聞き入り、古代ロマンの探求心が沸いた。



自衛官募集抽出名簿閲覧を中止せよ!

5月31日(金) 13時30分から、北九州市北橋健治市長に自衛官募集のための抽出名簿閲覧について中止するよう求める要請を行いました。この行動は、小倉地区平和委員会が呼び掛け、北九州市民の会や北九州地区労連、全教北九州一職員組合、新日本婦人の会各支部、北九州憲法集会実行委員会など17団体が呼び掛け、緊急の行動にもかかわらず30人が参加。呼びかけ人の小倉平和委員会高木健康会長が要請書を手渡しました。その後参加者から、自衛隊の要請に安易に応える北九州市の姿勢について厳しく追及。対応した総務局区政課課長は、法律の範囲での対応であり問題はないという立場を表明しました。(堀田和夫氏 FB より)



築城基地の米軍基地化を許さない!

6月2日(日)、ファントムの騒音がとどろく築上町ふるさと公園広場では、1500名の参加で怒りの集会が開かれました。集められたカンパは、32万9650円。集会では、沖縄からの報告、高校生の元気の発言を含む地元3名の築城からの報告、山口・宮崎・大分・佐賀県の各地から報告。日本共産党仁比聡平参議院と社民党佐々木満県議の連帯挨拶。立憲民主党と国民民主党からはメッセージが寄せられた。集会アピールを確認し、青柳行信氏(福岡県総がかり実行委員会代表)が閉会挨拶。その後、デモ行進をしました。



平和資料館建設で出前講演—質問や要望がたくさん

門司区民の会は、5月28日(火) 大里東市民センターで、平和資料館建設について、市の出前講演を開催、21名が参加しました。

北九州市平和資料館担当課長の説明では、2020年度工事竣工をめざして、①貴重な市民の戦争体験や戦時下の暮らしの様子、戦後の復興を

果たすまでの“まち”の変遷などを伝える。②二度と戦争の惨禍を繰り返さないよう、市民一人ひとりが戦争の悲惨さや平和の大切さ、命の尊さを考える機会を提供する施設にしています。参加者からは、戦時中・戦後の市民のくらしの様子を展示するのも大事だが、なぜ戦争が起こったかがわかる展示にしてほしい。門司港から200万人将兵が出兵し、100万頭の出征軍馬が船に乗って戦地に送られた事実など知らせてほしいなど、たくさんの意見や要望が出されました。



北九州地区労連第75回評議員会

6月7日、北九州地区労連第75回評議員会が開かれました。最初、新屋敷副議長の開会あいさつ、議長団に前田市職労書記長と大山学嘱労委員長を選出。来賓として日本共産党高瀬県会議員、山内市会議員からそれぞれ激励のあいさつを受けました。評議員会は、評議員会定数55人、出席評議員43人で成立。第1号議案「新規加入組合の承認について」永吉事務局長代行が提案し満場の拍手で採択、新しく加入が認められた北九州市バス労組浅岡委員長から「加入承認のお礼、これから市民の足を守るたたかいへの支援」を訴える挨拶があり満場の拍手が起こりました。その後、第2号議案「経過報告」、第4号議案「これからの取り組みと夏季闘争方針(案)」を永吉事務局長代行が提案、第3号議案「第3四半期収支報告」第4号議案「2018年度決算見込みと予算の更正」第5号議案「2019年度暫定予算(案)」について堀田事務局長が提案。議案についての質疑討論では、大島(全教北九州)、平安(福建労北九州)、健和(健和会労組)、三崎(北九市職労)、雪竹(JMITU八幡支部)の5人の評議から議案に対する補強意見が述べられ、すべての議案は満場一致で採択されました。大島副議長の閉会あいさつに続き細川事務局次長の音頭で団結頑張ろう、第75回評議員会は無事に終了しました。



(堀田和夫氏 FBより)

福島原発事故処理費用、なんと!81兆円 中野洋一氏が指摘、第2回憲法連続講座

6月8日(土)、9条の会・北九州憲法ネット主催第2回憲法連続講座には、29名の参加がありました。講師の中野洋一氏(九州国際大名誉教授)は「福島原発事故後の原発産業をめぐる大きな変化」と題して講演。中野洋一氏は、事故後の原発産業をめぐる状況での、3つの変化を指摘しました。①アメリカのシェール石油革命による、2014年からの世界石油価格の暴落②福島原発事故後の、各国の原発の安全基準の引き上げに対する原発建設費の高騰と、原発メーカーの経営難③2016年11月の「気候温暖化抑制のための再生可能エネルギーを推進するパリ協定」の発効です。これらの事態をめぐる、世界の動きを詳細に話しました。最後に、福島原発事故に関する今後の後始末に必要なお金の話になりました。政府が11兆円と試算していましたが、保守系と言われる民間の総合研究所が、なんと81兆円もの資金が必要であると予測しています。このことを聞いた参加者からは、驚きの声が上がりました。



北九州社保協が総会と講演会

6月8日(土)、北九州市社会保障推進協議会が第24回総会と学習講演会を開催しました。総会では、高木会長の挨拶に始まり、内田事務局長が経過報告・決算と今後の方針・予算案を一括説明し、承認されました。学習講演会は、長友薫輝氏(三重短期大学教授)が「地域の貧困と社会保障」について包括的なお話をされた。地域における貧困や孤立をどう把握し、どう支援していくのかという課題に取り組んでいかなければならない。



第40回八幡市民会館の活用を求める連絡会

6月12日(水)、上記連絡会があり、参加者全員が熱心に討論した。

これまでの経過を確認し今後の方向性を検討した結果、一つは、長期的には、ゆるやかな新しい団体を立ち上げること、二つは、連絡会は発足時の原点に立ち、外観もホールも残すことを求め続けること。さらに、「八幡市民センターを埋蔵文化センターに用途変更すること」と「公共施設マネジメント実行計画の施行規則制定」についての公開質問状の回答に対する再質問について討論・検討しました。次回は、7月8日(月)、13:30、大谷市民センター



さよなら原発!350回に90名参加!

3月14日(金)、17時30分から19時まで、さよなら原発!金曜行動350回記念の宣伝行動が取り組まれました。雨が降っていましたが、350回記念ということで90名が参加、みんな元気にチラシを配り、署名活動をしました。棚次会長、深江事務局長はもちろん、田村衆議院議員、高瀬県会議員等も駆けつけ、次々にリレートークとうたごえ。大勢で賑やかに取り組むことができ楽しかった。最後はシュプレヒコールで閉めました。金曜行動は続く。さよなら原発が実現するまで。



第56回北九州母親大会

6月16日(日)、第56回北九州母親大会が、八幡西区響きホールで開かれ、530人が参加。会場カンパも103,271円が集約されました。健和看護学院1年生が参加、学生と母親運動の皆さんがともに学び、連帯し、よりよい社会を目指して力を合わせる大会となっているようで感動的でした。午前中は「北九州の空にある危機。オスプレイも飛んでくる」など5つの分科会と無料年金相談会が開かれ、午後からは全体会。記念講演は、武蔵野大学志田洋子教授が「歌でつなぐ憲法の話—憲法に託された夢と希求—」と題してライブ&トークで、参加者を魅了した。運動交流は、労働者の闘い、消費税増税反対の闘い、辺野古新基地に土砂搬入反対の闘い、貴重な文化財を守る闘いなど10団体から訴えがありました。特別決議、大会宣言も満場一致で確認。会場から黒崎駅までのパレードには志田陽子さんも参加し、元気にコールしながら行進しました。



山下よしき副委員長演説会に1800人が参加

7月21日投票の参議院選挙まで36日、日本共産党福岡県委員会主催の講演会が、6月16日16時30分から小倉北区ソレイユ会館(旧厚生年金会館)で山下よしき副委員長を招き開かれました。講演会には、来賓として「市民連合ふくおか」共同代表の酒井嘉子氏、北九州市立大学の大平剛教授が参加し、野党共闘と日本共産党への期待をのべました。山下副委員長は、「消費税増税中止を訴え、賃金引き上げと長時間労働規制、学費半減、医療・年金の負担軽減と拡充、憲法9条を守りいやす、個人の尊厳を大切にしたい社会の実現」などについて解りやすく訴え、会場一杯の拍手に包まれました。



(堀田和夫氏 FBより)

2019 7月 July 今後の予定	
「くらしと福祉」編集委員会 日時：7月1日(月) 10:00 場所：医福研	354回さよなら原発金曜行動 日時：7月12日(金) 18:00 場所：小倉駅デッキ
憲法市民講座 日時：7月4日(木) 18:00 場所：北九州弁護士会館 講師：川上詩朗弁護士	355回さよなら原発金曜行動 日時：7月19日(金) 18:00 場所：小倉駅デッキ
353回さよなら原発金曜行動 日時：7月5日(金) 18:00 場所：小倉駅デッキ	憲法ネット事務局会議 日時：7月23日(火) 12:00 場所：小倉東法律事務所
戦争展第6回実行委員会 日時：7月11日(木) 18:00 場所：生涯学習総合センター	地域経済研究会 日時：7月24日(水) 14:00 場所：県自治体問題研究所
	356回さよなら原発金曜行動 日時：7月26日(金) 18:00 場所：小倉駅デッキ
	「くらしと福祉」編集委員会 日時：7月29日(月) 10:00 場所：医福研